

秋の多摩川クリーン作戦を実施します

多摩川を「きれいな、親しまれる川」にすることを目的に、昭和54年から始まった「多摩川クリーン作戦」は、多くの皆さんのおちからにより今回で69回目となります。河川の環境を守り、美化を推進するため、ぜひご参加ください。

日時／平成26年11月9日(日)午前8時～午前9時
※小雨決行・荒天中止・順延なし

集合場所／団体参加：多摩川河川敷の各拠点へ
(のぼり旗で表示)※初参加の団体は事前に環境政策課へご連絡ください。
個人参加：京王相模原線鉄橋下の本部
(事前申込不要)

持ち物／軍手 ※ごみ袋などは市で用意いたします。
その他／動きやすい服装でお越しください。

夏休み期間中、調布市多摩川自然情報館にたくさんの方々に来館いただきました

夏の調布市多摩川自然情報館には、たくさんのいきものが展示され、夏は1年で一番にぎわう季節です。

今年の夏休みも、7月19日の「夏休みイベント」をはじめとしたイベントや施設見学に、親子や友達同士でたくさんの来場がありました。とくに、8月の月替わりプログラム「多摩川の昆虫で標本作り」は小学生たちに大人気で、毎日子どもたちが持ち寄った昆虫などで標本作りを楽しみながら昆虫の体のつくりについて学びました。

開館時間／午前9時～午後5時

休館日／年末年始(12月29日～1月3日)
◇土日祝日も開館しています

所在地／調布市染地3-8-26



※調布市多摩川自然情報館は定期清掃のため、平成26年11月14日(金)を臨時休館します。

省エネ！実践していますか

暑い夏を乗り切り、皆さんの節電の努力により、今夏も不測の停電等は発生しませんでした。引き続き、無理のない範囲で節電を始めとする省エネの取組の実践をお願いします。

特に、秋から冬に向けては、ガスの使用量が増加します。

調布市域の年間家庭用ガス総使用量は平成25年度35,056,436m³で、市民一人当たりで換算すると、おおよそ158m³となっています。

平成25年度は前年度と比較し、減少しました。

節電の取組同様、ガスの使い方について、改めて見直してみませんか。

【市民一人当たりのガス使用量】

年度	平成21	22	23	24	25
単位 m ³ /年	162	161	162	163	158

【ガスの省エネ例】

- ・暖房効率を良くするために、窓に厚いカーテンを引く
- ・煮物をする時は落としふたをする
- ・コンロでは、炎が鍋底に合った火かげんにする
- ・お風呂は間隔をあげずに続けて入る
- ・使わないときはお風呂のフタを閉める
- ・こまめにシャワーを止める など

省エネ関連製品の寄附がありました

7月22日、「地元への利益還元」として、株式会社ノジマ様から、調布市に対して省エネ関連製品の寄附がありました。

同社は、店舗がある自治体への寄附を実施していて、調布市小島町の商業施設に店舗があることから、例年寄附をいただいでいて、今年度はLEDモニターテレビ

10台を寄附いただきました。

ご寄附いただいたテレビは、市の施設において使用中の旧式テレビと交換を行い、省エネを図ってまいります。



ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

- 発行：調布市環境部環境政策課
- 連絡先：電話：042-481-7086(直通) F A X：042-481-7550
メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2014年10月
第22号

刊行物登録番号
2014-140

調布市いきものフォトコンテスト2014 ～感じよう！生物多様性～ 作品募集

調布市では、市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、毎年調布市いきものフォトコンテストを開催しています。

市内に生息する野生生物が主体の写真を募集し、応募作品を調布市多摩川自然情報館で展示し、応募作品の中から投票・専門家の評価により入賞作品を決めます。

また、応募作品の撮影地点より、「2014年調布市いきもの分布情報図」を作成し、市内の生物多様性について応募作品とともに調布市多摩川自然情報館で展示します。



募集作品

【多摩川部門】

調布市内の多摩川に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)

【市内部門】

調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)

【スマホ部門】

スマートフォン、携帯電話及び携帯ゲーム機のカメラ機能並びにトイカメラ等で撮影した、調布市全域に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)。

応募条件

平成25年12月以降に調布市内で応募者本人によって撮影された写真で、未発表かつ応募者に全ての権利(著作権)があるもの。(1人につき2点まで)

応募規格

【多摩川部門・市内部門】

- ・A4サイズまたは6切サイズ

【スマホ部門】

- ・L判(127mm×89mm)

※各部門ともカラー、モノクロいずれも可。

電子データ(2MBまで)をご持参いただければ多摩川自然情報館で土・日、祝日に印刷可能です。

表彰内容

【多摩川部門・市内部門】

- ・多摩川自然情報館大賞(各部門1名)
図書券3,000円分、賞状を贈呈
- ・多摩川自然情報館賞(各部門2名)
図書券1,000円分、賞状を贈呈
- ・特別賞(各部門3名)
図書券500円分、賞状を贈呈

【スマホ部門】

- ・作品賞(5名)
図書券500円分、賞状を贈呈

※入賞作品は来館者の投票及び専門家による評価で決定します。平成26年12月21日(日)～平成27年2月21日(土)まで応募作品を調布市多摩川自然情報館内に展示し、来館者に投票(1人2票まで)していただきます。投票用紙は調布市多摩川自然情報館で配布します。(応募された作品が募集作品の要件を満たしていない場合は審査対象外)

募集期間

平成26年11月30日(日)(消印有効)まで
応募方法や作品の取り扱いなど、そのほかの詳細は、市のホームページまたは、環境政策課、調布市多摩川自然情報館で配布している募集要項(応募票つき)でご確認ください。

いきものフォトコンテスト

検索

調布こどもエコクラブの活動

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などで自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しており、今年度は55人の子どもたちが会員として活動しています。

第3回 水辺ガサガサ(野川の生き物調査体験)

7月12日に、第七中学校そばの野川で、子ども26名と保護者、計38名で水辺の生き物観察(水辺ガサガサ)を行いました。

講師から川での活動の注意と生きもの採取の方法についての解説が行われたのち、活動を行いました。

希望する保護者とともに採取した水辺の生き物については、活動の最後で講師より解説が行われ、野川に棲む生き物を確認しました。



第3回活動の様子



網を使った水辺ガサガサ

○確認した生きもの

ウキゴリ、タモロコ、モツゴ(クチボソ)、メダカ、シマアメンボ、ミナミヌマエビ、オタマジャクシ(アカガエル、ウシガエル)、ミズムシ、コオニヤンマ(ヤゴ)、アメリカザリガニ、ヒラタカゲロウの一種、ヒル、シジミ、カワニナ、サカマキガイ、など(16種)

第4回 多摩川源流体験ツアー

8月18日には、多摩川源流の山梨県小菅村で、小学3年生以上を対象にした「多摩川源流体験ツアー」を行いました。

16人の子どもたちが参加し、小菅村の講師の解説を受けながら多摩川下流の沢歩き、滝うたれ体験、ライフジャケットを使った川の漂流体験など、冷たい源流の川を満喫していました。



湧水を確認



森の役割解説



滝うたれ体験



森の中を移動

環境モニターの活動

環境モニターは、多摩川の植物を中心とした継続観察と記録によって調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていこうという活動です。

今年度は、これまでの環境モニター活動の中で観察された、調布の多摩川を代表すると考えられる植物の一覧などを整理して、ホームページなどで公開できるように活動しています。

第3回 観察会(多摩川河川敷)

9月6日に、日活撮影所近くの多摩川河川敷で、定例の観察会を行いました。

講師から植物の見分け方についての解説を受けながら観察を行いました。また、今回の講師には昆虫にも詳しい方をお呼びしたので、植物と併せて昆虫についての解説も聞くことができました。

当日は植物54種、昆虫45種を観察することができました。



観察したワルナスビの花

○確認した植物種

ギンギシ、キシウスズメノヒエ、オギ、シロツメクサ、チガヤ、オッタチカタバミ、チカラシバ、コセンダングサ、ワルナスビ、メヒシバ、メマツヨイグサ、ツルボ、ヤハズソウ、オオニシキソウ、ギョウギシバ、クワイモ、オオブタクサ、ニガカシュウ、オニグルミ、セイパンモロコシ、エノコログサ、キンエノコロ、ママコノシリヌグイ、クコ、ヤブガラシ、ヒナタイノコツチ、ヨモギ、ヘクソカズラ、セイタカアワダチソウ、ヒガンバナ、ツルマメ、カナビキソウ、クズ、ムラサキツメクサ、メドハギ、エノキグサ、センニンソウ、アレチウリ、オシロイバナ、ガガイモ、メリケンガヤツリ、アメリカカタサブロウ、ヒロハホウキギク、マコモ、アレチハナガサ、ノゲシ、ヒメガマ、ハルシャギク、イタドリ、コゴメイ、オヒシバ、トウネズミモチ、カゼクサ、エノキ(計54種)

調布水辺の楽校の活動

第1回 開校式・Gasa Gasa in 多摩川

5月17日、多摩川河川敷で、多摩川流域7小学校の児童と保護者68人が参加し、今年度の水辺の楽校の開校式が、教員・地域の環境学習ボランティアの運営により行われました。

開校式後は、川の安全講習と、多摩川にどのような生き物がいるか観察をする「水辺のガサガサ」を行いました。



第1回活動の様子

○確認した生きもの

シマドジョウ、メダカ、オイカワ、トウヨシノボリ、ギンフナ、ウグイ、アブラハヤ、ヌカエビ、モクスカニ、コイ、コイ科の稚魚、コオニヤンマ(ヤゴ)、サナエトノボ科(ヤゴ)、ハグロトンボ(ヤゴ)、ヒゲナガカワトビケラ、ヒル、アメンボ、計17種

当日は素晴らしい天気恵まれ、多摩川の水もきれいにすんでいて、たくさんの生きものを確認しました。

第2回 アドベンチャー in 多摩川 2014

8月30日、多摩川河川敷で、今年度第2回の水辺の楽校「アドベンチャー in 多摩川 2014」を実施しました。開催前に天候不順が続き、気温が上がらない予報だったこともあって、最終的に多摩川流域4小学校の児童と保護者15組30人の参加となりました。

当日は予定を変更して布田小学校でのアユのビデオ鑑賞を行い、天候の回復後に水辺のガサガサを行いました。

○確認した生きもの

シマドジョウ、アブラハヤ、ギンフナ、モツゴ、メダカ、スミウキゴリ、ヤゴ(コオニヤンマ)、ヌカエビ、ミナミヌマエビ、ザリガニ(脱皮中)、稚魚多数(多分オイカワ・アブラハヤ)、ヒメゲンゴロウ、アメンボ

雑木林ボランティア講座(雑木林塾)の活動

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民との協働で保全していくため、雑木林ボランティア講座を実施しています。

平成26年度の雑木林ボランティア講座(前期)は、7月までに全3回を終えました。

秋に行われる講座の活動内容は、次号で紹介します。

前期第3回 植物から見える調布の雑木林

7月19日、入間樹林地で樹林の見方・植物のかたち・樹木の高さの目測について実習を行い、その後、入間樹林の会とともに保全作業を行いました。

午後からは、実習を行ったうえでの雑木林の構成やその見方の講義を受けました。



第3回活動の様子



樹高測定の様子

喫煙マナーアップキャンペーン実施のお知らせ

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」において、たばこの吸い殻等ごみのポイ捨てを禁止するとともに、歩きタバコをしないよう努めることとしています。

こうした迷惑喫煙をなくし、喫煙マナーの向上を図るため、本年度も喫煙マナーアップキャンペーンを実施します。

キャンペーン期間中、市内各駅周辺で、朝の通勤時間帯にあわせ喫煙マナーを呼びかけます。また、駅周辺の事業者、地域の皆さまのご協力を得て清掃活動を実施します。詳細は、市ホームページをご覧ください。

期 間/平成26年11月17日(月)~21日(金)
問い合わせ/環境政策課042-481-7087